

令和3年度「志教育」実践事例

宮城県気仙沼高等学校定時制課程

◎今年度の志教育は「地域との連携」のテーマの元、大きく「就業体験」と「安全教育」の二本を柱に計画、実施した。

I 就業体験

1. 活動 インターンシップ
2. 参加生徒 4名（1年生2名，3年生2名）
3. 重点指導事項 「もとめる」
4. 活動のねらい ①進路選択能力を育成し、勤労観・職業観を涵養する。
②社会人としてのマナーや言葉遣いなどを習得し、コミュニケーション能力を育成する。
③地域社会の一員として、地域社会との関わりを学ぶ。
5. 年間計画 ○実習期間 令和3年 7月26日（月）～ 7月29日（金） うち3日間
○事前指導 令和3年 7月12日（月）～ 7月16日（金）
○事後指導 令和3年 8月23日（火）～ 8月26日（金）

6. 活動の様子



7. 生徒の感想

- ・意外と身体を動かす仕事が多くて、汗をいっぱいかいて大変だった。本に付録を1つ1つ付ける作業があって驚きだった。（3年男子）
- ・少し大変だったが、アルバイトをしたらこんな感じなのだろうかと思像することができた。（1年女子）

8. 反省等

ハローワーク気仙沼様のご協力で、地元企業3社に就業体験させていただくことができた。今後面接指導などの進路行事にも地元企業のご協力をいただきながら、地域と連携した活動を行ってきたい。

II 安全教育

1. 活 動 防災避難訓練と防災学習
2. 参加生徒 全校生徒44名
3. 重点指導事項 「はたす」
4. 活動のねらい

地震災害に対する適切な防災対策を講じる校内体制の確立と、生徒・教職員の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

5. 年間計画 令和3年 6月29日(火) 防災教育①
9月28日(火) 防災学習②③

6. 内容等 防災学習① 防災避難訓練

【想定】

令和3年6月29日(火) 20:20~30:30の間に、宮城県沖を震源とするM9.0と推定される大地震が発生、気仙沼市及び南三陸町は震度6弱を観測、津波警報が発令された。その後、給食室で火災発生。非常階段を使って、速やかに生徒を校舎外の安全な場所に誘導するとともに、迅速な初期消火を行うことが求められる。

【手順】

- (1)緊急地震速報発令 (2)地震発生 (3)火災発見・初期対応
- (4)避難誘導し、東校庭に避難させる

防災学習②③ 講話「東日本大震災での気仙沼高等学校の取り組み」

【内容】

- (1)気仙沼高校の東日本大震災後の状況と対応について
- (2)学校再開に向けた取り組みについて
- (3)平成24年12月、令和3年3月の警報発令にともない気仙沼高校が実際に行った生徒・避難者等への対応について

7. 活動の様子 (左：防災学習①防災避難訓練, 右：防災学習②③講話)

